

別紙 2

機能要件一覧

①統合型GIS機能要件

No.	大分類	小分類	機能要求事項	必須項目
1	図面操作	ホームポジション	システム起動時に地図の初期表示位置を全庁共通、個人のいずれか指定できること。	○
2		スクロール	マウスのドラッグでスクロールができること。 キーボードの矢印キーでスクロール移動できること。	○
3		拡大・縮小	マウスホイールで連続した拡大・縮小ができること。 操作パネル（＋、－ボタン）を使用した既定縮尺表示ができること。 マウス操作による矩形拡大ができること。	○
4		中心移動	マウスで指定した箇所を画面中央に表示できること。	
5		全域表示	指定したレイヤの全域表示ができること。	○
6		戻る・進む	地図表示状態(位置、縮尺)を記録し、表示状態を戻したり進めたりできること。	○
7		ブックマーク	地図の表示状態（位置や縮尺）と位置を名前を付けて保存し、簡易に呼び出すことができること。	
8		縮尺等	地図画面内にスケールバー表示がされていること。 著作権があるレイヤが表示されている場合、コピーライトの表示がされること。	○
9		凡例表示	表示されているレイヤの凡例が画面上に表示できること。	○
10		位置図表示	画面表示している地図の位置図を別画面で表示できること。	
11		二画面表示	二画面表示でスクロール（同期）、縮尺変更の同期・非同期がとれること。	○
12		地図画像出力	表示している地図を画像ファイルに出力できること。	○
13	レイヤ操作	レイヤ表示切替	レイヤ構成をツリー形式で表示し、レイヤの表示・非表示の設定が行えること。 ツリーの並び順はユーザーごとに任意に変更できること。	○
14		グループレイヤの作成と表示	複数のレイヤをグループとして登録し表示できること。 作成したレイヤグループは、ユーザーマップにグループ名とサムネイルで表示できること。	○
15		透過設定	レイヤ毎に透過率を任意で変更できること。	○
16		重ね合わせ順序の変更	レイヤの重ね合わせ順をユーザーごとに任意に変更できること。	
17		描画書式の変更	図形の描画要素（線種、線色、線幅、面の内色、文字の太さ、傾き、下線など）を任意に変更できること。	○
18		ヒートマップ	ポイント レイヤに適用するスタイルを作成し、出力を（ラスター）ヒートマップにできること。	
19		クラスタ分析	ポイント レイヤに適用するスタイルを作成し、高密度のポイント データをクラスターに集約できること。	
20		レイヤ概要表示	レイヤの管理者、部署、概要データの説明を表示できること。	
21		このレイヤを表示しない	レイヤー一覧からレイヤを非表示にできること。	
22		使うレイヤの選択	非表示したレイヤー一覧から再表示を指定できること。	
23		集計	指定した属性項目の個数、最小、最大、合計、平均、標準偏差を集計でいること。	
24		スナップ対象レイヤー一覧	スナップ対象にしているレイヤの一覧を表示、削除できること。	

No.	大分類	小分類	機能要求事項	必須項目
25	図面検索	線上スナップ	図形を選択して、線上、端点をスナップできること。	
26		公開	個人が作成した主題図とインポートレイヤの公開ができること。	
27		ライセンス制御	レイヤの同時アクセス数を制限できること。	
28		住所検索	住所を階層的に絞り込み地図の表示ができること。	○
29		地番検索	地番を階層的に絞り込み地図の表示ができること。	○
30		統合検索	システムに登録されている全ての地図情報から串刺し検索し結果を一覧に表示できること。 一覧表に表示されている地物は地図上にシンボル表現されること。	○
31		統合検索	キーワードの入力により指定したレイヤの属性検索を行い、結果を一覧表に表示できること。 座標値（XY,BL）で検索できること。 スペース区切りでAND条件で指定できること。 一覧表の任意の行を選択することで、該当位置に地図が移動できること。	○
32		属性検索	属性情報の任意または複数の属性条件を指定して該当する属性情報を一覧表に表示できること。 一覧表の任意の行を選択することで、該当位置に地図が移動できること。	○
33		空間検索	空間領域（全域、表示範囲、任意領域、既存地物の領域）を指定し、領域内に該当する地物を抽出し、属性一覧表に表示できること。 一覧表の任意の行を選択することで、該当位置に地図が移動できること。	○
34		キーワード指定	キーワードの入力により指定したレイヤの属性検索を行い、結果を一覧表に表示できること。 一覧表の任意の行を選択することで、該当位置に地図が移動できること。	
35		表示している位置のURLリンク	地図の表示位置や縮尺、表示レイヤ等をURLに埋め込み、ハイパーリンクで他のブラウザ上に地図を復元できること。	
36		地点情報の表示	地図上の任意の箇所を指定することにより、その位置の緯度経度、標高を表示できること。	○
37	図面印刷	印刷設定	縮尺、レイヤ、印刷テンプレートなどが指定できること。 特定のレイヤを指定した際は、任意に指定した文字列を表示できること。	○
38		印刷プレビュー	印刷設定に従い印刷イメージを画面表示できること。	○
39		印刷	印刷設定に従い図面の印刷ができること。	○
40		印刷範囲指定	地図画面上に印刷枠を配置し、印刷範囲を任意に指定できること。 印刷枠は複数地図上に配置でき、印刷枠の保存ができること。	○
41		大判印刷	A2サイズ以上での出力ができること。	○
42		2画面印刷	2画面地図描画時に2画面のテンプレートで地図が印刷できること	
43		PDF出力	印刷設定に従い図面をPDFに出力できること。	○
44		強制印字	印刷時にレイヤのコメントを出力できること。	
45	図形選択	図形選択	処理対象となる図形を1つ選択できること。	○
46		複数図形選択	処理対象となる図形を複数選択できること。	○
47		フェンス	任意の領域を指定して処理対象となる図形を選択できること。	
48	属性参照	属性参照	指定した地物の属性情報を参照できること。	○

No.	大分類	小分類	機能要求事項	必須項目
49		串刺し参照	指定した地点にある表示レイヤの地物を串刺し検索し、属性情報を参照できること。	
50		帳票表示・印刷	指定した地物の属性情報を帳票として表示・印刷ができること。	
51		添付ファイルのサムネイル表示	対象地物に添付ファイルがあるとき、添付ファイルをサムネイル形式で表示できること。	○
52		地物一覧表示	複数図形が選択されているとき、属性情報を一覧表形式で表示できること。	
53		地物一覧エクスポート	地物選択、属性参照、属性検索により一覧表形式で表示されている属性情報をCSV、Shape、DXF、KML形式でエクスポートできること。	○
54	主題図作成	色分け表示	地物の属性値により、単色、個別値分類または数値分類による条件で着色できること。	○
55		ラベル表示	地物の指定した属性項目を、文字として地図上に表示できること。	○
56		領域集計表示	指定した領域で、任意レイヤの地物集計を行えること、集計結果は着色等により地図上に表示できること。	
57		属性一覧表	属性一覧表に表示されている情報を利用して、各種主題図が作成できること。	
58	図面編集	地物入力	指定したレイヤに線、面、円、文字、シンボル図形が入力できること。 既存図形を他のレイヤ含め複製できること。	○
59		地物編集	指定したレイヤに入力済みの線、面、円、文字、シンボル図形の編集・削除ができること。	○
60		地物属性編集	指定した地物の属性情報を編集できること。	○
61		地物コピー	指定した地物の属性情報を他のレイヤに一括コピーできること。	
62		お絵かき	レイヤを指定することなく、地図上へ線、面、文字、定型図形、画像が入力・編集・削除できること。 システム終了時には自動で破棄されること。 入力した図形を任意に保存・復元でき、また他のユーザと共有できること。	
63		メモ入力・編集	地図上へメモ情報を入力・編集・削除できること。 メモ情報へのファイル添付や公開範囲（個人・部署・全庁）の指定、公開期限の設定ができること。	○
64		外部データのインポート	Shape、DXF、KML形式のファイルを地図上に一括展開できること。	○
65		座標付画像データのインポート	座標付の画像ファイル（Exifファイル）を地図上に一括展開できること。	○
66		アドレスマッチング	住所等の地名が記載されているCSVデータをアドレスマッチングにより地図上に一括展開できること。 突合・不突合の件数を表示し、不突合データはリストとして出力できること。	
67		属性マッチング	CSVデータを既存のレイヤ（属性情報）とマッチングさせることにより地図上に一括展開できること。 突合・不突合の件数を表示し、不突合データはリストとして出力できること。	
68	計測	距離計測	距離計測ができること。この時、辺長、総延長が表示されること。	○
69		面積計測	面積計測ができること。この時、面積および周長が表示されること。	○
70	管理	レイヤ管理	レイヤの登録、編集、削除ができること。	○
71		データインポート	以下の形式の外部データの入力ができ、レイヤ登録できること。 Shape、CSV、DXF、KML。 既存レイヤへの登録時は、入れ替え、追加の指定ができること。	○
72		データエクスポート	指定したレイヤをShape、CSV、DXF、KML形式で外部出力できること。	○
73		レイヤ描画スタイル変更	指定したレイヤの描画スタイルを変更できること。	

No.	大分類	小分類	機能要求事項	必須項目
74		ジオコーディング	地名辞典を使用して、住所情報付の外部データを地図上に取り込めること。	
75		セッション管理	接続中のユーザ情報が確認できること。 管理者が強制的にセッションを解放できること。	○
76		ユーザー認証	ユーザー名、パスワードの入力によりユーザー認証ができること。	○
77		ユーザー管理	利用ユーザーの追加／編集／削除ができること。 所属するグループの追加／編集／削除ができること。 パスワードの文字数・文字種類による制御ができること。 パスワードの有効期限を設けること。	○
78		利用制限	ユーザーおよびグループに対し、データのアクセス許可や機能の使用許可を設定できること。 市販地図データライセンスなどの同時利用数の制限ができること。	○
79		ログ管理	操作ログ、エラーログの管理ができること。	○
80		APPLIC準拠	地域情報プラットフォーム標準仕様に準拠していること、または準拠予定であること。	○
81	固定資産特化機能－検索	地番検索	階層的な地番の検索ができること。	
82		仮換地地番検索	階層的な仮換地地番の検索ができること。	
83		家屋検索	階層的な家屋の検索ができること。	
84		家屋調査番号検索	階層的な家屋調査番号の検索ができること。	
85		未特定家屋検索	階層的な未特定家屋の検索ができること。	
86		所有者検索	階層的な土地と家屋の所有者の検索ができること。	
87		路線番号検索	階層的な路線番号の検索ができること。	
88		仮換地路線番号検索	階層的な仮換地路線番号の検索ができること。	
89		標準宅地検索	階層的な標準宅地の検索ができること。	
90		状況類似地域検索	階層的な状況類似地域の検索ができること。	
91		地価公示検索	階層的な地価公示の検索ができること。	
92		地価調査検索	階層的な地価調査の検索ができること。	
93		処理番号検索	処理番号による土地、家屋の検索ができること。	
94		索引図検索	索引図から対象の図郭を指定して地図を表示できること。	
95		住宅地図検索	ゼンリン住宅地図を利用した階層的な住居表示検索ができること。	
96		目標物検索	階層的な目標物の検索ができること。	
97		公図検索	階層的な公図の検索ができること。 また、未定地番も検索ができること。	
98	固定資産特化機能－台帳	土地	指定した土地の課税台帳を表示、印刷ができること。	
99			指定した土地の評価調書を表示、印刷ができること。	
100			指定した土地の構成座標を表示、印刷ができること。	
101			指定した地点にある土地利用状況申告書を作成できること。	
102		家屋	指定した家屋の課税台帳を表示、印刷ができること。	

No.	大分類	小分類	機能要求事項	必須項目
103		路線	指定した路線の台帳を表示、印刷ができること。	
104			指定した路線の算定表を表示、印刷ができること。	
105		標準宅地	指定した標準宅地の台帳を表示、印刷ができること。	
106		状況類似地域	指定した状況類似地域の台帳を表示、印刷ができること。	
107		地価公示検索	指定した地価公示の台帳を表示、印刷ができること。	
108		地価調査検索	指定した地価調査の台帳を表示、印刷ができること。	
109	固定資産特化機能－登記情報	登記済通知書	新規に登記済通知書csvの取込みができること。	
110			登記済通知書を確認、印刷できること。	
111			登記済通知書の日付毎の取込み状況を確認できること。	
112		要約書	土地の要約書を確認、印刷できること。	
113			建物の要約書を確認、印刷できること。	
114			土地、建物の所有者の共有者情報を一覧で表示できること。	
115			土地、建物の要約書の属性情報をExcelで出力できること。	
116			土地、建物の要約書のヘッダー・フッターにメモ欄を用意し、表示および編集できること。	
117			土地、建物の要約書にファイルが添付できること。	
118		登記事項	土地の登記済通知書を要約書に反映し、登記事項を確認、印刷できること。	
119			建物の登記済通知書を要約書に反映し、登記事項を確認、印刷できること。	
120		登記地図	他課向け公開用の地図を表示できること。	
121			地図上のスポット情報から該当の筆の登記済通知書、要約書を表示できること。	
122	固定資産特化機能－土地異動更新	異動筆追加	新規に異動筆の形状、属性を追加できること。	
123		異動筆編集	既存の異動筆の形状、属性を編集できること。	
124		異動筆削除	既存の異動筆の形状、属性を削除できること。	
125			既存の異動筆の形状、属性をユーザーが指定する範囲でまとめて削除できること。	
126		分筆	異動筆の分筆ができること。	
127		合筆	異動筆の合筆ができること。	
128		評価分割	異動筆の評価分割ができること。	
129		評価分割解除	異動筆の評価分割解除ができること。	
130	固定資産特化機能－画地計測	計測	地図上で単一の筆を選択することで画地認定をできること。	
131			地図上で複数の筆を選択することで画地認定をできること。	
132			地図上に測量図を敷設して画地認定をできること。	
133			間口を指定することで、想定整形地の間口距離、奥行距離、陰地割合等を自動で算出できること。	
134			間口距離・奥行距離を手動で修正できること。	
135			第2奥行を指定できること。	
136			陰地割合を手動で修正できること。	
137			画地構成筆から求められる最小陰地割合を計算、自動で設定できること。	

No.	大分類	小分類	機能要求事項	必須項目
138			取得した計測情報（間口、奥行等）を確認し、計測中に取得結果の入替ができること。	
139			定められた所要の補正の各値を設定できること。	
140			面積割合などで計算可能な補正率を自動で取得できること。	
141			形状補正、無道路地補正、がけ地補正、特例、造成費等の必要な補正値を設定できること。	
142			画地の評価計算ができ、結果を保存できること。	
143		画地計測結果の一覧	取得済みの画地計測結果を確認、印刷できること。	
144			画地計測結果をCSV形式でデータ出力できること。	
145		市街化宅地評価法による評価	地図上から路線価図形を選択することで、路線価番号、用途、路線価を取得・設定できること。	
146		その他宅地評価法による評価	地図上から標準地図形を選択することで、標準地番号、用途、評点数を設定できること。	
147		単価による評価	単価、評点数、所要の補正等の必要な値から評価額のシミュレーションができること。	
148	固定資産特化機能－家屋異動更新	家屋追加	新規に家屋の形状、属性を追加できること。	
149		家屋編集	既存の家屋の形状、属性を編集できること。	
150		家屋削除	既存の家屋の形状、属性を削除できること。	
151		家屋外形の取込み	xy形式のデータを家屋の形状としてインポートできること。	
152	固定資産特化機能－家屋異動判読	一次判読	2時期の航空写真を比較し、異動のあった箇所を判定入力できること。	
153			入力した異動判定をレイヤーに保存できること。	
154			一次判読の進捗状況を確認できること。	
155		二次判読	一次判読で異動ありと判定された箇所に判定種別（新築、増築、滅失等）をポイントデータで配置できること。	
156			一次判読で異動ありと判定された箇所を巡回できること。	
157			また、地区担当の設定することで、担当する地区のみ巡回できること。	
158			二次判読結果の属性情報をExcel形式で出力できること。	
159	固定資産特化機能－路線価図更新	路線追加	新規に路線の形状、属性を追加できること。	
160		路線編集	既存の路線の形状、属性を編集できること。	
161		路線削除	既存の路線の形状、属性を削除できること。	
162		算定	路線の要因、比率率等の属性情報を編集し、路線価算定ができること。	
163			最寄りの位置（駅、道路、建物など）までの距離を自動的に算出できること。	
164		ネットワーク追加	新規のネットワーク線の形状を追加できること。	
165		ネットワーク編集	既存のネットワーク線の形状を編集できること。	
166		ネットワーク削除	既存のネットワーク線の形状を削除できること。	
167	固定資産特化機能－現地調査	土地	土地の現地調査情報を地図及び属性を表示できること。	
168			土地の現地調査用のポイントと属性情報を登録できること。	
169			現地調査情報をモバイルシステム（別契約）向けの図形及び属性データでエクスポートできること。	
170			モバイルシステム（別契約）で登録した図形及び属性データをインポートできること。	

No.	大分類	小分類	機能要求事項	必須項目
171			土地の現地調査情報を帳票に出力できること。	
172	固定資産特化機能－土地評価	土地	土地の評価情報を一覧から参照、編集できること。	
173			登記～評価情報までの業務状況を一覧で管理、確認できること。	
174	固定資産特化機能－地図（表示）	移動	マウスのドラッグ操作によりに自由なスクロールができること。	
175			任意の箇所1点を指定し画面中心にスクロール表示できること。	
176			操作パネルおよびキーボードの矢印キーでスクロール移動できること。	
177			緯度経度座標および平面座標を指定して地図を中心に表示できること。	
178			システム起動時に地図の初期表示位置を権限別（共通、部門・グループ、個人など）に指定できること。	
179		ズーム	マウスホイール操作により地図を連続的に拡大・縮小できること。	
180			表示地図内で矩形領域を指定して拡大できること。	
181			指定の縮尺（数値および操作パネル（バー））で地図を拡大・縮小できること。	
182			地図の全域を表示できること。	
183		回転	指定した角度で地図を回転表示できること。	
184			地図上でマウス操作により、自由に地図を回転表示できること。	
185		レイヤ表示	任意に選択したレイヤの表示状態をON/OFFできること。	
186			ユーザー毎にレイヤの表示順を変更できること。	
187			レイヤ毎に透過率を任意で変更できること。	
188		レイヤグループ	複数のレイヤをグループとしてまとめて表示・非表示できること。	
189			権限別（共通、部門・グループ、個人など）にグループの作成・削除など管理ができること。	
190		位置図	全体図（索引図、等）上に、地図画面の表示領域を表示できること。	
191			地図画面の動きと同期して位置図の表示も拡大・縮小・移動がされること。	
192		簡易検索	地図上で地番検索を行い、検索した地番位置に移動できること。	
193			地図上で棟番号検索を行い、検索した棟番号位置に移動できること。	
194			地図上で路線番号検索を行い、検索した路線番号位置に移動できること。	
195		2画面表示	2画面表示でスクロールおよび縮尺変更の同期・非同期がとれること。	
196			2画面表示で異なる地図を表示できること。	
197		その他	表示中の地図縮尺に対応したスケールバーが表示されること。	
198			表示中の地図縮尺が表示されること。	
199			表示中の地図角度に対応した方位が表示されること。	
200			表示されているレイヤの凡例を表示できること。	
201			地図の中心がわかるようにマークの表示・非表示ができること。	
202			指定位置の座標（緯度経度および平面座標）が表示できること。	
203			ラスターレイヤーのデータ時点が表示できること。	
204			表示中の地図画面を画像として保存できること。	

No.	大分類	小分類	機能要求事項	必須項目
205	固定資産特化機能－地 図（印刷）	印刷	画面表示した地図を印刷設定に従ってPDFに出力できること。	
206			指定した地点の地物を強調表示した状態で印刷できること。	
207			印刷枠を任意に複数配置してまとめて印刷できること。	
208			メッシュ配置された印刷枠を任意に複数指定してまとめて印刷できること。	
209			任意に指定した範囲を印刷用紙サイズで分割してまとめて印刷できること。	
210			任意に指定した地物、もしくはcsvで入力した地物リストからまとめて印刷できること。	
211		印刷プレビュー	印刷状態をあらかじめ画面上で確認できること。	
212			印刷状態を確認しながら印刷位置を調整できること。	
213		印刷設定	地図と合わせてレイヤー一覧、凡例、タイトル、方位、等の情報も印刷するよう任意設定できること。	
214			印刷する地図の縮尺を指定できること。	
215			印刷する用紙のサイズ（A3～A4）・向き（縦・横）を指定できること。	
216			印刷テンプレートを指定して印刷ができること。	
217			GoogleMapへのリンク二次元バーコードを配置して印刷ができること。	
218		印刷セキュリティ	レイヤ及びユーザーの権限によって、レイヤ毎に印刷禁止（除外）とする設定ができること。	
219			地図の著作権等の条件によって、印刷の可否および印刷日時や注意の文言を強制的に印字できること。	
220	固定資産特化機能－地 図（分析）	色塗り表示	属性の個別の値ごとに色分け表示の条件を作成、編集、削除できること。	
221			属性の個別の値ごとに指定した条件で地図上に色分け表示ができること。	
222			土地や家屋棟番号のリストを読み込んで着色表示ができること。	
223		テキスト表示	属性のテキスト項目に対してラベル表示の条件を作成、編集、削除できること。	
224			属性のテキスト項目に対して指定した条件で地図上にラベル表示ができること。	
225	固定資産特化機能－属 性参照	スポット情報	指定した地物の属性情報を参照できること。	
226			指定した地点にある表示レイヤの地物を串刺し検索して、属性情報を参照できること。	
227			また、属性情報の参照順をユーザーごとに指定できること。	
228			指定した地点の筆界及び家屋の所有者情報から、その所有者が有している筆界及び家屋の物件一覧を参 照できること。	
229			指定した地点の現地調査情報を串刺し検索して、属性情報を参照できること。	
230			指定した路線を正面、側方、二方とする画地構成筆をマスタから参照できること。	
231			指定した路線を正面、側方、二方とする画地構成筆を取得画地から参照できること。	
232		指定した地点にある図郭（索引図、住宅地図など）の図面番号を表示できること。		
233	固定資産特化機能－属 性検索	帳票	指定した地物の属性情報を帳票として表示・印刷（PDF出力）ができること。 （帳票デザインはカスタマイズとする）	
234		検索条件	属性情報による地物の検索条件を作成、編集、削除できること。	
235		検索結果表示	検索条件で検索された地物を地図上に表示できること。	
			検索条件で検索された地物の属性情報を一覧で表示できること。	

No.	大分類	小分類	機能要求事項	必須項目
236	固定資産特化機能－計測	距離計測	地図上でマウスクリックにより指定した多点間の距離を計測できること。 また、中間点までの距離も表示されること。	
237		面積計測	地図上でマウスクリックにより指定した多角形の面積と周長を計測できること。 また、各辺の距離も表示されること。	
238		地物計測	既存レイヤの図形の計測ができること。	
239		補助機能	計測した結果を集計できること。	
240			マウスクリック時にスナップの指定ができること。	
241		印刷	計測の結果が印刷できること。	
242	固定資産特化機能－図形編集	マイマップ	レイヤを指定することなく、地図上へ線、面、円、文字、シンボル、画像が入力・編集・削除できること。 システム終了時には自動で破棄されること。 作図の結果をユーザー毎に保存、復元ができること。	
243			作図の結果を共有して保存、復元ができること。	
244			作図の結果を共有して保存、復元ができること。	
245		レイヤ	レイヤを指定して、線、面、円、文字、シンボルが入力・編集・削除できること。	
246			指定した地物に対して添付ファイルの添付（アップロード、ダウンロード）、削除ができること。	
247			マウスクリック時にスナップの指定ができること。	
248	固定資産特化機能－掲示板（BBS）	地図	地図上で記事（シンボル）の入力・編集・削除ができること。	
249			地図上の記事（シンボル）をクリックしてツールチップ（吹き出し）として属性情報の一部を参照できること。	
250			記事の詳細情報の閲覧・編集・削除ができること。 また、写真などの添付ができること。	
251		一覧表示	記事の一覧が表示されること。	
252			記事のタイトル、内容を検索の対象として検索できること。	
253			記事の情報を一覧からエクスポートできること。	
254	固定資産特化機能－沿革	土地	土地の沿革情報を管理できること。	
255		家屋	家屋の沿革情報を管理できること。	
256	固定資産特化機能－ファイリング	土地	指定した土地に対してファイリングができること。	
257		家屋	指定した家屋に対してファイリングができること。	
258		路線	指定した路線に対してファイリングができること。	
259		標準宅地	指定した標準宅地に対してファイリングができること。	
260		状況類似地域	指定した状況類似地域に対してファイリングができること。	
261		プレビュー	登録したファイルをプレビューで表示できること。 またファイルの拡大、縮小も合わせてできること。	
262	固定資産特化機能－管理	ログイン認証	ID、パスワード認証によるログインができること。	
263		操作ログ	ユーザーの操作ログを記録できること。	

No.	大分類	小分類	機能要求事項	必須項目
264			ユーザーの操作ログを検索・表示できること。	
265			ユーザーの操作ログをCSV出力できること。	
266			システムにログインしているユーザー情報を表示できること。	
267		アクセス権	レイヤおよび機能に対してユーザーまたはグループの権限によって、参照禁止とする設定ができること。	
268			レイヤおよび機能に対してユーザーまたはグループの権限によって、印刷禁止とする設定ができること。	
269			レイヤおよび機能に対してユーザーまたはグループの権限によって、編集禁止とする設定ができること。	
270			レイヤおよび機能に対してユーザーまたはグループの権限によって、出力禁止とする設定ができること。	
271		ユーザー管理	ユーザー情報を登録、変更、削除ができること。	
272			グループ情報を登録、変更、削除ができること。	
273			パスワードに有効期限を設定することができること。 また、パスワード変更を促す仕組みを有すること。	
274			パスワードのポリシーを設定できること。	
275		お知らせ情報	システムで表示するお知らせ情報を追加、編集できること。	
276		不一致情報	土地と家屋の不一致情報を地図から参照できること。	
277		地図管理	レイヤ毎に利用者数の上限を管理できること。	
278		自動終了	一定時間操作がなかった場合、自動的にログオフすること。	
279		ワークフロー	平年度の異動処理をワークフロー形式で管理、共有できること。	
280		業務選択	ショートカット機能（機能の組み合わせ）を管理できること。	
281		所有者秘匿	対象とする所有者の住所情報を隠して地図や台帳を表示、印刷できること。	
282		お気に入り	地図上からお気に入り地点を登録、表示ができること。	
283		外部連携	EXCELと連携して地図の表示ができること。	

別紙 2

機能要件一覧

②公開型GIS機能要件

No.	大分類	小分類	機能概要	機能要求事項	必須項目
1	サービス利用者向け機能	表示	トップページ表示	公開型GISの利用者向けトップページを表示する。市章や公式キャラクターなど、利用者に市区町村のサービスであることが伝わりやすい工夫ができる。	○
2			カテゴリページ表示	部門やカテゴリなどで分かれたページを表示する。	○
3			ヘルプ表示	使い方などのヘルプを表示する。	○
4			複数言語対応	複数の言語で地図を作成することができる。	
5			マルチデバイス対応	同一URLより、マルチデバイス（PC/スマートフォン/タブレット）の画面サイズに合わせた地図表示を自動的に行うことができる。	○
6			利用規約への同意	利用者に利用規約の内容を提示し、確認（同意）をとる機能を有すること。	○
7			問い合わせ機能	問い合わせ方法に関する情報が掲載できる。	○
8		基本操作	拡大・縮小	マウスホイールの操作で拡大・縮小する。また、マウス操作により矩形領域を指定し拡大する。	○
9			地図移動	マウスのドラッグで地図を移動する。	○
10			ホーム移動	予め設定しておいた座標、縮尺の初期表示に移動する。	
11			2D地図表示	地図コンテンツと背景図を重ね合わせて地図に表示できる。	○
12			3D地図表示	3D地図を表示する。	
13			2画面表示・連動	異なる施設情報、地図コンテンツ及び背景図を選択した2種類の地図を同一画面内に並べて表示する。また、拡大縮小や移動等の動作を連動できる。	○
14			概観図表示	概観図を表示する。また、概観図で指定した場所に地図表示を移動できる。	
15			凡例表示	表示中のアイコン等に対する凡例を表示し、表示・非表示の切り替えができる。	○
16			著作権・ロゴ表示	地図の著作権・ロゴを画面と印刷物に表示する。	○
17			スケールバー	表示中の地図縮尺に対応してスケールバーを表示できる。	○
18			現在地表示	スマホ等のGPS付き端末で表示した場合、現在地が表示される。	○
19			ブックマーク移動	予め設定しておいた座標、縮尺に移動する。ブックマークは複数登録できる。	
20			レイヤ表示・非表示	レイヤのチェックボックスで表示・非表示を切り替える。	○
21			レイヤの一括表示・非表示	レイヤの表示/非表示の一括切り替えや、すべてのレイヤの展開/折りたたみができる。	
22			レイヤ追加	利用者が市および他団体が公開しているレイヤを追加できる。	
23			スタイル設定	ポイント・ライン・ポリゴンへ表示スタイル（色/大きさ/太さ/ハッチングパターン/アイコン/透過度など）を設定する。また、縮尺に応じて、アイコンのサイズや形状等を変更せず、画面上で一定のサイズで表示する。	

No.	大分類	小分類	機能概要	機能要求事項	必須項目
24				ポリゴンデータのハッチングパターンは縦・横・斜め（右下がり、左下がりの各方向）で設定できる。	
25			ラベル表示	属性情報の値に従い、ラベルを地図上へ表示する。また、属性情報上の角度に従い、ラベルやアイコンを回転して地図上に表示する。	
26			縮尺表示設定	レイヤーを縮尺に応じて非表示にする。非表示とする縮尺は、レイヤーごとに設定できる。	
27			背景地図切り替え	予め登録された背景地図の中から地図を選択し切り替える。背景地図はサービス提供者が標準で用意している地図、発注者が提供する地図を登録する。	○
28			添付ファイル	レイヤーに紐づいたPDFや画像ファイル（jpg,png）を表示する。また、画像ファイルについては、ダウンロードせずに画面上へ表示する。	
29			座標表示	マウスで選択した地点の座標を表示する。	○
30			属性表示	マウスで選択した地物の属性を表示する。	○
31			距離計測	マウスで任意に選択した区間の距離を表示する。	○
32			面積計測	マウスで任意に選択した範囲の面積を表示する。	○
33			ダッシュボード	1画面上に地図や属性の集計結果およびグラフを表示する。	
34		検索	住所検索	住所で検索を行う。	○
35			目標物検索	代表的な目標物で検索を行う。	○
36			属性検索	主題図に含まれる属性のうち、検索対象となるものについて検索を行う。	○
37			ルート検索	2地点間の最短経路を検索し、地図上に経路及び距離を表示できる。	
38			座標検索	2地点間の最短経路を検索し、地図上に経路及び距離を表示できる。	
39		作図・編集	メモ作図	一時的なメモを作図し、印刷にも反映する。ブラウザの戻る、閉じるで消滅する。作図は点、面、線、テキストなど。	
40			作図	作図を行い、特定のレイヤに登録する。作図は点、面、線、テキストなど。	○
41			属性入力	作図した地物に対して属性の入力を行う。	○
42			アンケートフォーム	市民からアンケート等のフォームに従った入力ができる。	
43		印刷	印刷	印刷用の画像をブラウザの別タブに表示する。印刷はブラウザの機能で行う。	○
44			印刷タイトル入力	印刷用のタイトルを入力し、印刷に反映する。	○
45			凡例の追加	凡例を印刷物に表示する。	○
46		解析・高度な機能	アドレスマッチング	住所リストに対して座標を付与する。	
47			ルート検索	道路網を利用してルートを検索する。	
48			属性での絞り込み（クエリ）	属性を選択して、該当する地物を絞り込むことができる。	
49			レイヤ追加	利用者が市および他団体が公開しているレイヤを追加できる。	
50			属性の一括編集	指定した複数の地物の属性を一括編集する。	
51			グラフ化	地物が持つ属性をグラフ化して表示する。	

No.	大分類	小分類	機能概要	機能要求事項	必須項目
52			近隣・同心円検索	ある地点を指定し、同心円を描画し、含まれる地物を近い順にリストアップする。地物の検索を行う。	
53			断面図	3D地形に対する横断面図および縦断面図を作成する。また、作成した情報をCSVで出力する。	
54			SNSへの共有	表示している地図の内容を表示可能なURL及びQRコードを作成し、電子メールやSNS（Facebook、X）で共有ができる。	
55			可視解析	指定された距離、観測点の高さ、および視野に基づいて、観測点から見えるものを特定する。	
56			データ集約	ポイントやポリゴンの地物のデータを集約する。	
57			最適な施設の選択	条件に基づき既存の施設への割当などを行う。	
58			データへの情報付加	レイヤに他の属性情報を付加する。	
59			パターンの分析	密度の計算、ホットスポット分析を行う。	
60			近接エリアの分析	同心円（バッファ）の作成を行い、含まれる地物を抽出する。また、抽出した地物情報をPDF/JSON/CSV/GeoJSONで出力することができる。	
61			レイヤ操作	境界線の結合、レイヤ同士の結合を行う。	
62		オープンデータ	オープンデータカタログサイト表示	カタログサイトを表示する。Webページの作成をテンプレートを用いて行うことができ、ページのレイアウトやデザインを変更など職員の手で行うことができる。	
63			データセットの検索	データセットを検索する。	
64			データセットの選択	データセットを選択する。	
65			データセットの地図表示	データセットを地図上に表示する。クリックで指定した地物とレコードが強調表示される。	
66			全件ダウンロード	データセットを全件ダウンロードする。	
67			絞り込みダウンロード	データセットを条件で絞り込みダウンロードする。	
68			ダウンロード形式自動変換	職員が1度データセットを登録することで、ダウンロード形式は自動で変換され利用者が自由に選択できる。	
69				対応形式はCSV、シェープファイル、GeoJSON、KMLに対応する。	
70			APIでのデータ提供	APIでデータを提供することでアプリ開発者は常に最新のデータを自動で利用できる。	
71	管理者向け機能	管理画面	管理画面へのログイン	ID、パスワードで管理画面にログインできる。	○
72			管理画面表示	管理画面を表示する。	○
73			お知らせ	ユーザーへのお知らせをバナーとして表示する。	○
74			利用状況の表示	ユーザーやコンテンツの利用状況を表示する。	○
75		ユーザー管理	ユーザー作成・編集	ユーザーを作成・編集・削除する。	○
76			ユーザー権限設定	ユーザーの権限を設定する。	○

No.	大分類	小分類	機能概要	機能要求事項	必須項目
77			グループ作成・編集	グループを作成・編集・削除する。	○
78			グループへの招待	グループへユーザーを招待する。他団体のユーザーも招待できる機能を有する。	
79		コンテンツ管理	コンテンツ作成・設定	コンテンツを作成・編集・設定・削除する。	○
80			コンテンツ検索	コンテンツを検索する。	
81			コンテンツダウンロード	コンテンツをダウンロードする。	
82			コンテンツの状況メモ	コンテンツの状況などをメモに追記したり、メタデータとして諸元を追記できる。	
83			カテゴリページ作成・編集	カテゴリページを作成・編集・設定・削除する。	○
84			Webマップ作成	Webブラウザで利用できる地図を職員が作成・編集・設定・削除できる。	○
85			オープンデータ追加	Webマップを作成する場合に、一般公開されているデータをインターネットから検索し、ボタン1つで主題図または背景地図として利用できる。	
86			Webアプリ設定	Webマップを利用するためのアプリを、既存の表示ひな形から選択することで設定できる。	
87			Webアプリ作成	Webマップを利用するためのアプリを、マウス操作で部品化された機能や色を選択することで設定できる。	
88			Webアプリ機能の追加	機能を追加し、部品として保存できる。	
89			既存Webアプリの取込み	GISメーカー、サービス提供者、ユーザーコミュニティ等が業務用の無料のテンプレートを発行している場合は、取り込み利用できる。	
90			オープンデータカタログサイト作成・編集	オープンデータカタログサイトを作成・編集・設定・削除する。	
91			アンケートフォーム作成	アンケートフォームを作成・編集・設定・削除する。	
92				市民から地図情報付きデータの投稿受付が可能なこと、その際写真を添付できる。	
93				市民投稿があった際、メール通知等が可能なこと。（Power automate等との連携により担当者が構築可能な場合を含む）	
94	地図管理機能	基本操作	地図表示	地図を表示することができる。	○
95			拡大・縮小	マウスホイールの操作で拡大・縮小する。	○
96			地図移動	マウスのドラッグで地図を移動する。	○
97			ブックマーク移動	予め設定しておいた座標、縮尺に移動する。ブックマークは複数表現できる。	
98			レイヤ表示・非表示	レイヤのチェックボックスで表示・非表示を切り替える。	○
99			レイヤ追加	フィーチャ、マップ、画像などマップにレイヤとして追加できる。	○
100			レイヤ設定	レイヤの表現を設定し、シンボルやライン、ハッチングなどを保存する。	○

No.	大分類	小分類	機能概要	機能要求事項	必須項目
101			自動色分け設定	対象のレイヤの属性によって自動で色分けする（人口、等）。色分けは絶対数だけでなく、面積など別の値で割った正規化が行えること（人口÷面積=人口密度）。	
102			背景地図切り替え	予め登録された背景地図の中から地図を選択し切り替える。背景地図はサービス提供者が標準で用意している地図、発注者が提供する地図を登録する。	○
103			座標表示	マウスで選択した地点の座標を表示する。	
104			属性表示	マウスで選択した地物の属性を表示する。	
105			距離計測	マウスで任意に選択した区間の距離を表示する。	
106			面積計測	マウスで任意に選択した範囲の面積を表示する。	
107		検索	住所検索	住所で検索を行う。	
108			目標物検索	代表的な目標物で検索を行う。	
109			属性検索	主題図に含まれる属性のうち、検索対象となるものについて検索を行う。	
110		作図・編集	作図	作図を行い、特定のレイヤに登録する。作図は点、面、線、テキスト、3Dなど。	
111			属性入力	作図した地物に対して属性の入力を行う。	
112		印刷	印刷	レイアウトビューで作成した地図・凡例・縮尺バー・タイトル・テキスト・画像などを印刷可能。用紙サイズ（A4、A3、B4など）や方向（縦・横）を設定し、印刷時に「余白」「ページ位置合わせ」などが調整できる。	
113			複数地図の一括印刷	印刷雛形を設定し、自動で複数地図を印刷する。指定した範囲の対象を複数の図郭に分割し一括印刷ができる。	
114		データ管理	地図作成	地図を新規に作成する。	○
115			データ追加	既存の地図データを追加し、表示する。	○
116			データ変換	データの変換を行う。	
117			タイルの自動作成	航空写真等のラスタを高速化させるためのタイルを作成する。	
118		アップロード	地図のアップロード	ウィザード画面で職員が公開型GISのコンテンツ管理領域にアップロードできる。	○
119		解析・高度な機能	データ集約	ポイントやポリゴンの地物のデータを集約する。	
120			最適な施設の選択	条件に基づき既存の施設への割当などを行う。	
121			データへの情報付加	レイヤに他の属性情報を付加する。	
122			パターンの分析	密度の計算、ホットスポット分析を行う。	
123			近接エリアの分析	同心円（バッファ）の作成を行い、含まれる地物を抽出する。	
124			レイヤ操作	境界線の結合、レイヤ同士の結合を行う。	
125			高度な編集	複数図形の一括編集（移動・回転・拡大縮小）ができる。	
126	スマートフォンアプリ	現地調査	地図表示	地図を表示できる。	
127			拡大・縮小	拡大・縮小できる。	

No.	大分類	小分類	機能概要	機能要求事項	必須項目
128			現在地表示	GPS機能で現在地が表示できる。	
129			作図	ポイント、ポリゴンの作図ができる。	
130			写真アップロード	写真をアップロードできる。	
131			オフライン動作	通信できないエリアでは予め調査範囲の地図を切り出し、作図等の操作ができる。通信できる状態になったときに同期すること。	
132			作業のプッシュ通知	本部から作業者にリアルタイムに作業を通知できる。	
133			作業状態の応答	作業者は割り振られた作業を開始、終了などの状況をボタンで本部に通知できる。	
134			調査票作成	職員の手で調査票を作成することができ、調査の実施、調査結果の集計まで行うことができる。	